



# 一般社団法人 舞多聞エコ倶楽部

■地区名(所在地)・面積・戸数:ガーデンシティ舞多聞 みついで・みついで南プロジェクト (兵庫県神戸市垂水区舞多聞東)・約10ha・150戸

## 1. 団体の概要

- ①団体の種別: 非営利型 一般社団法人
- ②団体全体の予算: 年間約18万円  
活動費18万円
- ③外部委託: なし
- ④共有地・共有施設: なし
- ⑤まちなみのルール: 地区計画(2001年2月20日開始)、建築協定(みついで:2006年2月17日開始、みついで南:2007年2月16日開始)、緑地協定(みついで2006年3月17日開始、みついで南:2007年3月20日開始)、みついでガイドライン、みついで南ガイドライン



左から、橋本恒一、塩月仁

## 2. 維持管理活動の概要

### 1) まちなみ形成の時期

ガーデンシティ舞多聞は、旧舞子ゴルフ場跡地(約108ha)に、UR都市機構(UR)が土地区画整理事業により開発を進めるまちである。「新・郊外居住」の実現をめざし、第1期「みついで」、第2期「みついで南」、そして地区西端の「てらいで」が進行中である。

計画段階(2003年)から大学(神戸芸術工科大学)、UR都市機構、入居希望者によるまちなみ形成の試みが行われ、入居希望者は公開講座やワークショップ(WS)で価値の共有化を図った。さらに、大学と個別入居予定者間にて道路や隣家に配慮した住宅プランを構想したほか、建築・緑地協定の内容決定などがなされた。そして2007年7月から入居が始まった。

地形や緑を残した土地利用計画がなされたまちなみは、緩やかな曲線道路、電線類地中化、後退スペースを活かし整備された芝生と歩行者空間、ゆとりある区画などにより、良好な住環境が形成されている。

### 2) 活動の開始時期と活動の経緯

まちなみ形成WSに取り組むなか、環境問題に興味のある者を中心に「みついでエコ倶楽部」を設立し、大学やURと協力して樹林管理育成WSを企画運営してきた。そして「みついで・みついで南」の合同WSを進めることとなり、2008年11月「舞多聞エコ倶楽部」に改名した。

2015年6月、組織の継続にめどが立ち、住民、事業主、学校などと協働してエリアマネジメントに取り組むことを目的に一般社団法人化された。

### 3) 現在の活動状況

- ①学園緑地・みついで住宅地の景観維持改善: 市による草刈に加え、年数回の草刈りを実施し緑を管理。溜池のヨシの除根活動およびハスなどの棲み分け計画の作成。自然林の維持管理(美林づくり)。地域の美化活動への器具貸出や作業協力。
- ②景観改善: 花のまちなみ整備のため専門家を招き学習会開催、および整備計画の立案。雑草駆除法の試行。植栽事業のために助成制度の活用検討。商業施設敷地内の里山改善への働きかけ。
- ③会員勧誘(活動人材の確保)と各種助成制度を活用した活動資金の確保

### 4) 今後の活動方針

- ①季節の風物詩となるイベントの創出
- ②緑のまちなみ保全、樹林地の景観改善
- ③市の市民花壇制度を利用して花のまちなみ整備
- ④建築・緑地協定運営委員会への支援







- ① 既存樹林を背景に持つまちなみ
- ② 街区には歩行空間が整備され、ゆるやかな曲線道路が通っている
- ③ 学園南公園から学園南緑地とみつけの住宅内の樹林を望む
- ④ 多様な住戸が建ち並ぶ
- ⑤ 街区内道路は緩やかなカーブを描く。緑がまちに潤いを与えている
- ⑥ ゆとりある宅地割
- ⑦ 里山の景観改善。伐採木を薪にする
- ⑧ 既存樹木の伐採管理
- ⑨ 花壇づくりの専門家を招き学習会
- ⑩ 公園で夏に開催される「流しそうめん」

(提出図書より一部を抜粋)